



第23期 株主通信

2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

 ジャパンマテリアル株式会社

証券コード：6055

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループ第23期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 田中久男

おかげさまで、第23期の連結売上高は342億34百万円、営業利益は81億2百万円となり、7期連続増益、最高益更新と右肩上がりの成長を遂げております。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

最先端技術を有する半導体・液晶工場を支える技術者集団として、世界に誇る半導体・液晶の国際競争力向上に向けてこれまで以上にお役に立てる存在になりたいと思っております。

皆様のご期待に沿えるよう、これからも邁進してまいります。

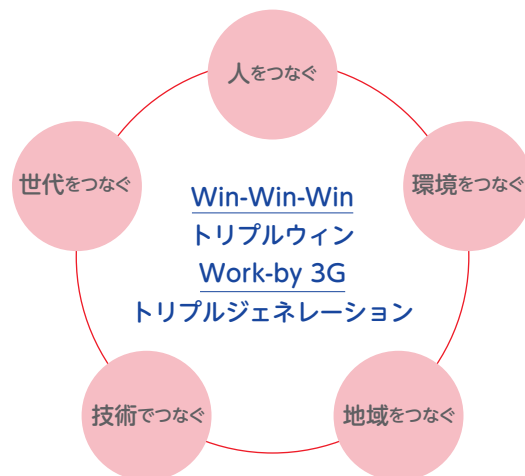
■経営ビジョン

Win-Win-Win(トリプルウィン)

Work-by 3G(トリプルジェネレーション)

■特徴

- ・当社は、「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」を企業理念とし、安全・安心を基軸とした「安全最優先」の意識のもと、お客様の期待を超える質の高い商品やサービスを提供しております。
- ・半導体及び液晶関連工場向けにインフラ設備事業を展開しているエレクトロニクス関連事業、画像・映像・放送に関わる画像処理製品の販売・保守を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として事業を展開しております。



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳～70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

第23期ダイジェスト

Summary

売上高

342億34百万円

前年同期比4.7%減



営業利益

81億02百万円

前年同期比2.5%増



経常利益

81億33百万円

前年同期比2.7%増



親会社株主に帰属する当期純利益

55億96百万円

前年同期比1.5%増



- イニシャル部門は半導体工場における新規設備投資が当社想定より遅れたことから減収となったものの、第4四半期に供給配管設計施工案件が集中し作業効率化が図られたことで利益は堅調に推移
- オペレーション部門は中小型ディスプレイ工場向けで一部生産稼働停止の影響を受けたものの、半導体製造装置メンテナンス、超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンスを中心に堅調に推移

トピックス

「4K/8Kピクチャー ウィンドウ」
ソニーマーケティング(株)・(株)ランドスキップと事業提携

鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン
特別協賛企業・運営ボランティアスタッフとして参加

九州放送機器展2019に出展

コーポレートサイトをフルリニューアル



デジタルサイネージジャパン2019に出展
第22回定時株主総会を開催

株式投資サマーセミナー参加

Inter BEE 2019に出展
第12回ジャパンマテリアルグループ
ファミリーイベントを開催

当期の業績についてお聞かせ下さい。

当社グループのエレクトロニクス関連事業において、生産活動に伴い発生するオペレーション部門は、半導体工場での生産活動が拡大していることから、半導体製造装置メンテナンス、超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンスを中心に堅調に推移しましたが、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資は引き続き実施されているものの、当社想定より遅れていることから影響を受けました。

グラフィックスソリューション事業においては、展示会を通じて製品のPR活動や、取引先に対する積極的な営業活動を継続したことで、デジタルサイネージ向け製品やビデオプロセッサなどのグラフィックス製品を中心に順調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所(出力合計約3.9メガワット)が稼働しております。

以上の結果、業績に関しては下記のとおりになりました。

次期の見通しについてお聞かせ下さい。

当社グループが属する半導体業界におきましては、5G(第5世代移動通信システム)など通信技術の進歩やIoT推進など、情報量増加に伴うデータセンター向けサーバー需要の拡大、またノートPCやタブレットなどテレワーク関連機器の需要増加など、景気低迷の影響は少ないものと想定しております。

このような状況の中、当社グループは、新規顧客の開拓や既存顧客における事業範囲の拡大を積極的に行い、事業領域の拡大を図ってまいります。

エレクトロニクス関連事業におきましては、オペレーション部門の半導体製造装置メンテナンスにおいて、顧客からの需要に応えるべく、積極的に技術者の採用を行うとともに、当社グループ内において技術者を育成し人材を確保することで事業領域を拡大し、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント(TFM)」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、イニシャル部門では、主要顧客における大型設備投資が継続的に実施されることが見込まれるため、

業績ハイライト

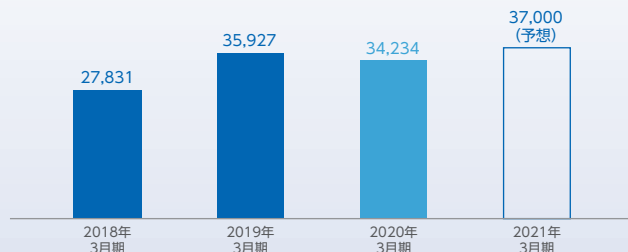
売上高

342億34百万円

前年同期比
4.7%減



(単位：百万円)



※2021年3月期の予想は2020年5月14日現在のものです。

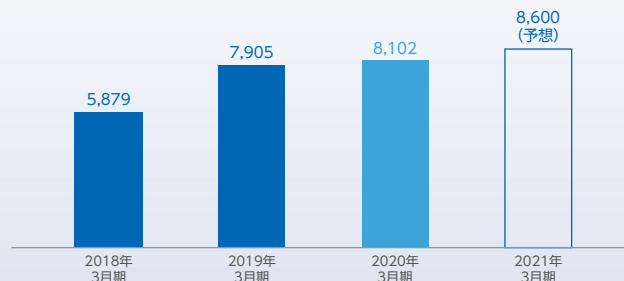
営業利益

81億02百万円

前年同期比
2.5%増



(単位：百万円)



積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションの提供を拡大してまいります。更にパソコン関連部品であるマルチディスプレイ用グラフィックボード、放送業界向け製品など積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が懸念されており、当社グループは政府及び自治体の方針を踏まえ、独自に感染拡大防止に努め事業活動を継続しておりますが、国内外の経済活動の更なる減速、主要顧客の設備投資の遅れ、顧客工場における稼働率の大幅な低下などにより、今後の事業活動及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



親会社株主に帰属する当期純利益

55億96百万円

前年同期比
1.5%増



(単位：百万円)

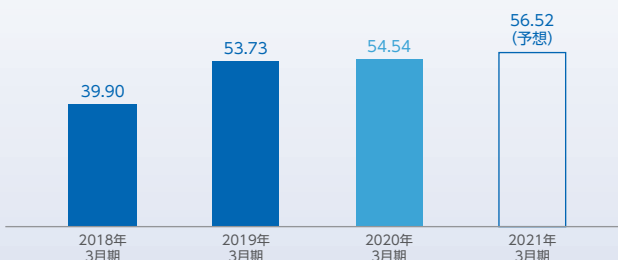
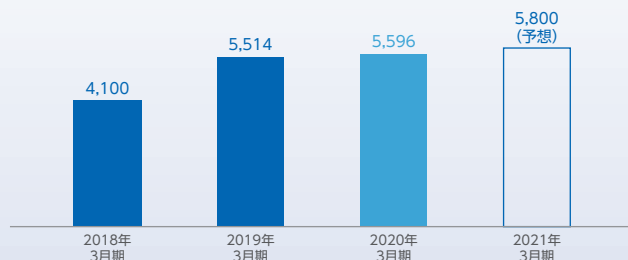
1株当たり当期純利益

54円54銭

前年同期比
1.5%増



(単位：円)



2018年3月1日付けで1株につき3株の株式分割を行っており、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたものとして表示しております。

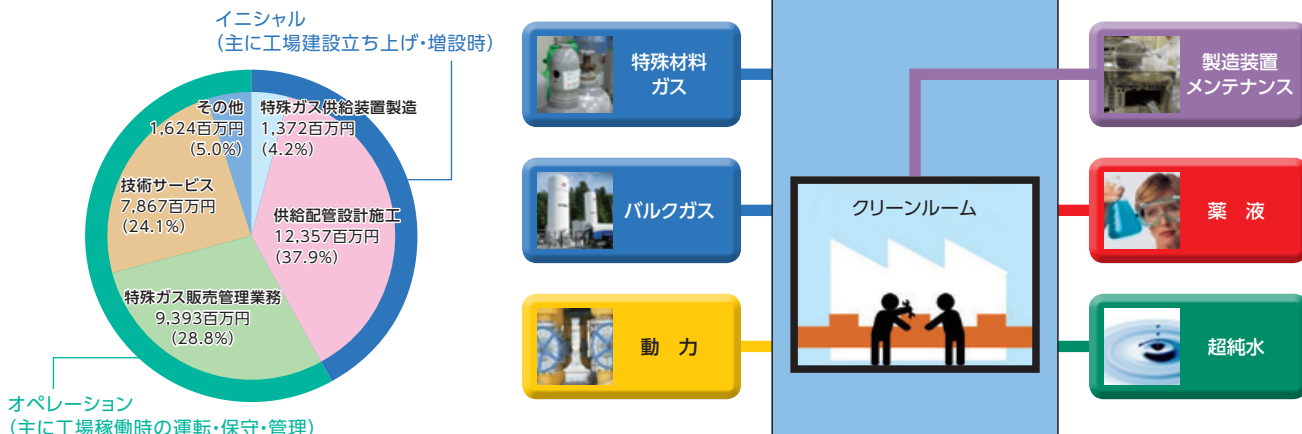
エレクトロニクス関連事業

事業内容

半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。更にお客様工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等の技術サービスを提供しております。



エレクトロニクス関連事業 内訳



ジャパンマテリアル コーポレートサイトの全面リニューアルを実施

2020年3月12日、ジャパンマテリアル コーポレートサイトの全面リニューアルを実施しました。

これまで以上に当社グループの事業内容をお伝えできるよう、ページ構成やデザインを全面的に見直し、パソコンやスマートフォン・タブレット等の多様なデバイスからアクセスする際にも、快適にご利用いただけるよう利便性を向上させました。

「ジャパンマテリアルってどんな会社?」「JM早わかり」では、エレクトロニクス関連事業を視覚的に分かりやすくお伝えするため＜半導体・液晶工場の模式図＞を制作しました。パソコンサイトでは、各事業内容にカーソルを合わせると模式図内の着色箇所が変わり、一目で事業内容をご覧いただけます。その他にも、グラフィックスソリューション事業や太陽光発電事業・CSR活動など、様々な内容を掲載しておりますので、是非一度ご覧ください。

今後も多くの皆様にご利用いただけるよう内容の改善・充実に努めて参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

◆本リニューアルに伴い、コーポレートサイトURLが変更となりました。ご利用の際は、下記URLよりアクセスください。
<https://www.j-materials.jp/>



グラフィックスソリューション事業



グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージ関連商品等の販売・サポート、コンテンツ制作、システム構築を行っております。

小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビション等幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送に関わる製品等の販売・サポートを行っております。

放送局やポストプロダクションで採用されています。

3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

Inter BEE 2019に出展



2019年11月13日～15日に幕張メッセで開催された「Inter BEE 2019」に出展しました。本イベントは、国内外から最新の映像・放送・通信・音響・照明・メディアビジネスのイノベーションが一堂に会するメディア総合イベントです。2019年の出展社数は1,158社/団体、来場者数は40,375名と2年連続で4万人を超える来場者数を記録しました。

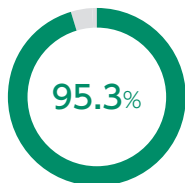
大盛況の中、当社ブースでは3Dグラフィックスをリアルタイムで送出し、画面へ映し出す8K対応の「KarismaCG 8K」や4K・8K・ST2110等の最新規格に対応した製品をご紹介しました。また、デジタルサイネージプレーヤー「BrightSign」やプロフェッショナル用途向けビデオプロセッサ「VNS GeoBox」等の展示も行いました。

事業概況

Segment Overview

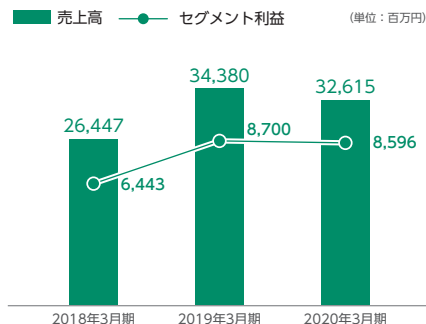
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



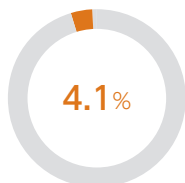
売上高	326億15百万円 (前年同期比 5.1% 減)
セグメント利益	85億96百万円 (前年同期比 1.2% 減)

半導体製造装置メンテナンス、超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンスを中心に堅調に推移



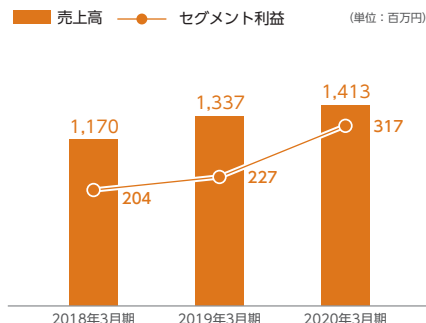
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



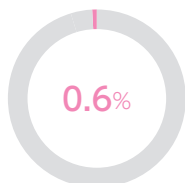
売上高	14億13百万円 (前年同期比 5.7% 増)
セグメント利益	3億17百万円 (前年同期比 39.1% 増)

デジタルサイネージ向け製品やビデオプロセッサーなどを中心に積極的な営業活動を継続したことにより順調に推移



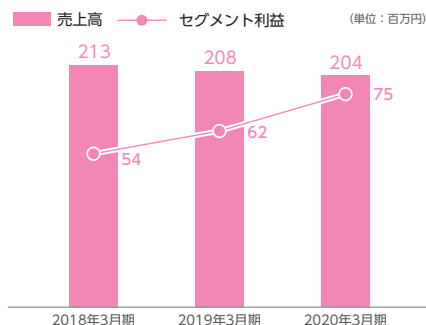
太陽光発電事業

事業別売上高比率



売上高	2億04百万円 (前年同期比 1.9% 減)
セグメント利益	75百万円 (前年同期比 20.0% 増)

三重県内で3か所の太陽光発電所(出力合計約3.9メガワット)が稼働



連結財務データ

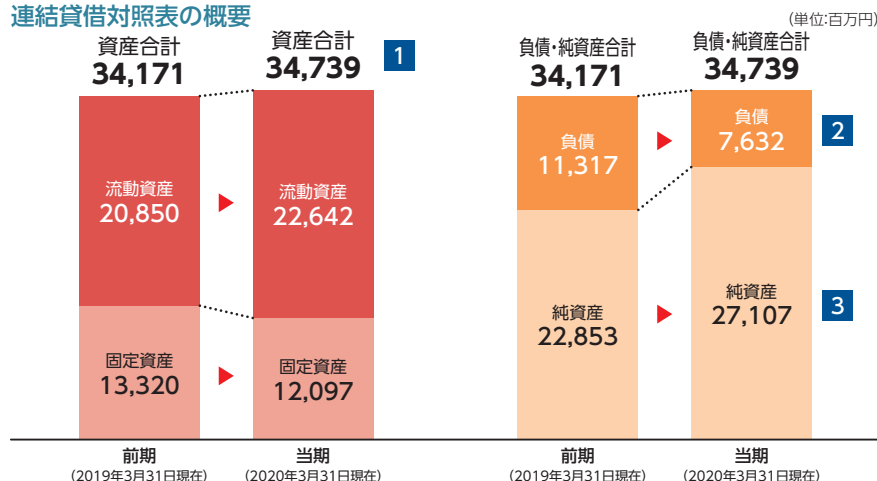
Consolidated Financial Statements

詳細情報は

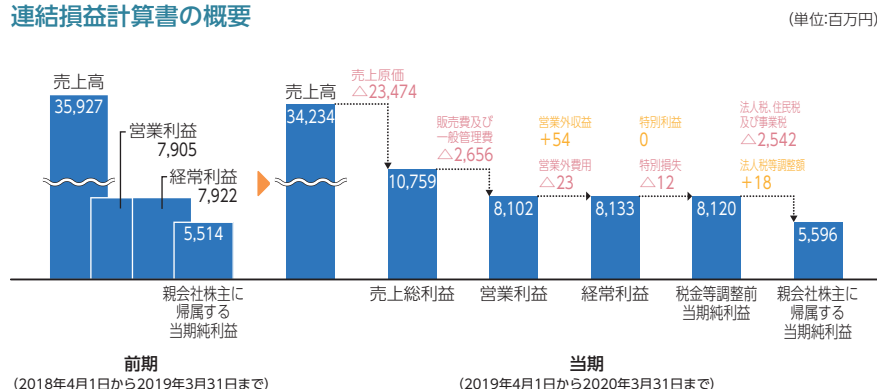
ジャパンマテリアル IR

検索

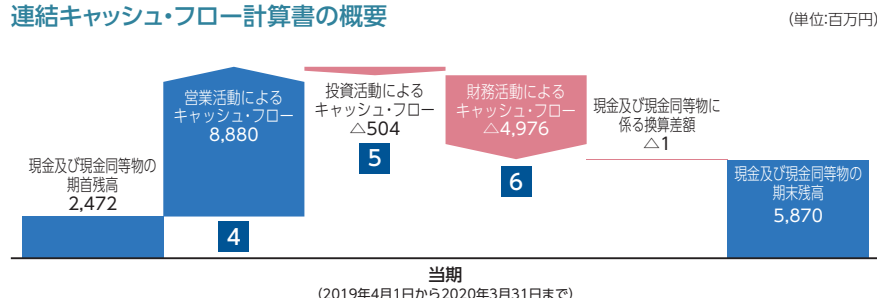
連結貸借対照表の概要



連結損益計算書の概要



連結キャッシュ・フロー計算書の概要



ポイント

1 資産合計

資産合計は347億39百万円となり、前期末に比べ5億68百万円増加しました。
主に現金及び預金が増加しました。

2 負債合計

負債合計は76億32百万円となり、前期末に比べ36億85百万円減少しました。
主に短期借入金が減少しました。

3 純資産合計

純資産合計は271億7百万円となり、前期末に比べ42億53百万円増加しました。
利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益81億20百万円、リース債権及びリース投資資産の減少12億28百万円、たな卸資産の減少9億92百万円、減価償却費の計上6億8百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額26億89百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出3億61百万円、定期預金の預入による支出1億31百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な内訳は短期借入金の純減額36億8百万円、配当金の支払額13億34百万円であります。

会社概要(2020年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設 立 年 月 日：1997年4月28日
資 本 金：13億1,781万5,250円
上 場 市 場：東証一部、名証一部
代 表 者：代表取締役社長 田中久男
従 業 員 数：(連結)1,130名、(単体)288名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
本 店 所 在 地：〒510-1311 三重県三重郡菟野町永井3098番22

関係会社(2020年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノキケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	東京都新宿区	19	グラフィックスソリューション事業
株式会社バック・ステージ※	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業

※非連結

グループネットワーク

国内
40拠点

海外
4拠点



役員(2020年6月24日現在)

代表取締役社長	田 中 久 男
常務取締役執行役員	甲 斐 哲 郎
取締役執行役員	長 谷 圭 祐
取締役執行役員	坂 口 好 則
取締役執行役員	矢 内 信 晴
取締役執行役員	田 中 宏 典
取締役執行役員	田 中 智 和
取締役執行役員	竹 村 光 司
社 外 取 締 役	町 田 和 彦
社 外 取 締 役	大 島 次 郎
常 勤 監 査 役	喜 多 照 幸
社 外 監 査 役	春 馬 葉 子
社 外 監 査 役	今 枝 剛
執 行 役 員	北 川 浩 二
執 行 役 員	森 正 勝

株式情報

Stock Information

株式の状況(2020年3月31日現在)

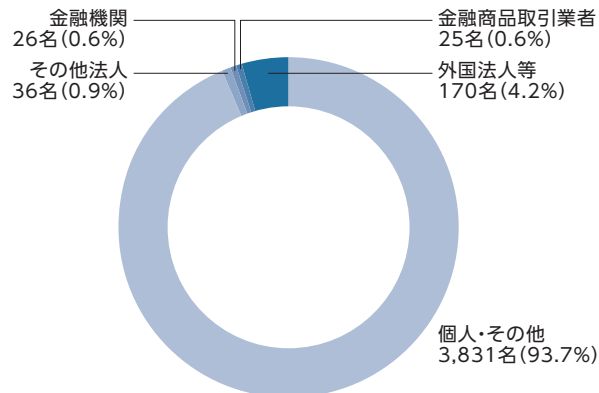
発行可能株式総数	324,000,000株
発行済株式の総数	102,620,946株(自己株式2,528,574株を除く)
単元株式数	100株
株主数	4,089名

大株主の状況(2020年3月31日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
田中 久男	14,314,500	13.9
田中 智和	9,699,900	9.5
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	9,527,100	9.3
株式会社HT	6,000,000	5.8
T&T株式会社	6,000,000	5.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,781,800	4.7
喜多 照幸	3,024,660	2.9
株式会社百五銀行	2,160,000	2.1
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	2,158,750	2.1
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,894,525	1.8

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(2,528,574株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



IRサイトのご案内

URL変更→<https://www.j-materials.jp/ir/>
※2020年3月12日コーポレートサイトを全面リニューアルいたしました。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**配当金受領
株主確定日** 3月31日(期末配当)

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内

**株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.j-materials.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

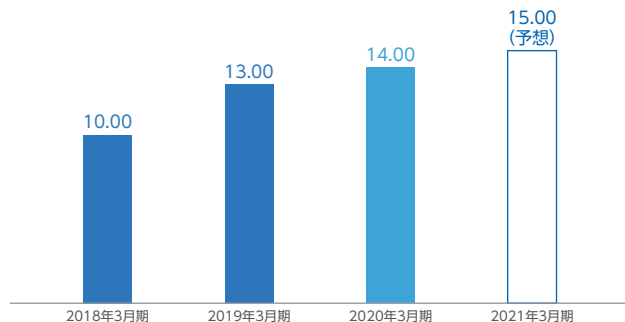
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主還元

Premium Redemption to Shareholders

配当金の推移

(単位：円)



2018年3月1日付けで1株につき3株の株式分割を行っており、2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたものとして表示しております。

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくため株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元（100株）以上保有されている株主様を対象に下記の通りQUOカードを贈呈いたします。



保有株式数		優待内容
5,000株以上		クオカード 5,000円分
1,000株以上	5,000株未満	クオカード 3,000円分
100株以上	1,000株未満	クオカード 1,000円分

CSRニュース「第12回ジャパンマテリアルグループ ファミリーイベント」を開催

2019年11月9日(土)、三重県菰野町の本社にて「第12回ジャパンマテリアルグループ ファミリーイベント」を開催いたしました。12回目を迎えた本イベントは、地域の皆様とジャパンマテリアルグループの社員・家族とのより良い交流を目的として毎年開催しております。秋晴れの中、約300名の方にご来場いただき、社員が企画する餅つきなどのイベントのほか、警察署による「警察犬模範演技」



や地元地域で活動されている「よさこいチーム」「津軽三味線会」の方々にもご参加いただき、力強いパフォーマンスをご披露いただきました。

また、ジャパンマテリアルグループでは正社員としてベトナム国籍の技術者を積極的に採用しております。今回は新たにベトナム文化に触れていただくための交流ブースを設け、「ベトナム料理」の提供や「民族衣装」の紹介、「ベトナム語によるジャンケン大会」を行い、来場された皆様と楽しく交流を深めることが出来ました。



JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22
TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<https://www.j-materials.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。